

**AKAI**  
**PROFESSIONAL**




---

**AMX**

ユーザ・ガイド

# 安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク

-  このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。
-  このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。
-  このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。

## 製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。

1. 注意事項を読んでください。
2. 注意事項を守ってください。
3. すべての警告に従ってください。
4. すべての注意事項に従ってください。
5. 水の近くで使用しないでください。
6. お手入れの際は、乾いた布を使用してください。  
液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
7. 取扱説明書に従って設置してください。
8. 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
9. 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
10. 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
11. 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
12. 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
13. 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
14. 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
15. 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低 15 センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
16. 本装置をアンプに接続して、ヘッドフォンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります。(聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください)。
17. 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
18. 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://akai-pro.jp/>

**AKAI**  
PROFESSIONAL

＜お問い合わせ＞

株式会社ニューマークジャパンコーポレーション

カスタマ・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布3-19-23

オーク南麻布ビルディング6階

TEL : 03-6277-2231 FAX : 03-6277-0025

## ユーザ・ガイド

### はじめに

#### 同梱品

- ・ AMX
- ・ USB ケーブル
- ・ Software Download Card (英文)
- ・ User Guide (英文)
- ・ Safety & Warranty Manual (英文)

#### サポート

製品のサポートにつきましては、以下のページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/support/>

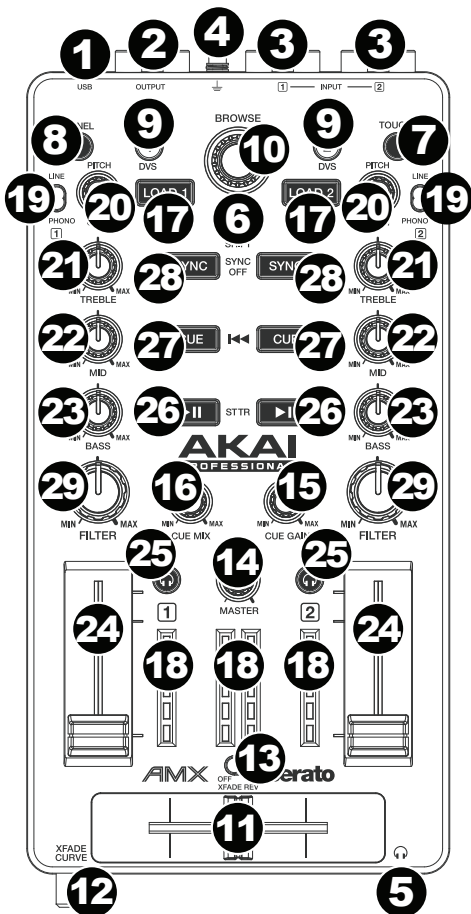
また、AMX の最新情報につきましては、製品ページをご覧ください。

<http://akai-pro.jp/amx/>

#### クイックスタート

1. **Windows でご使用いただく場合は**、製品ページより Windows 用のドライバをダウンロードし、インストールしてください。
2. **serato.com** から最新の Serato DJ をダウンロードして、インストールしてください。
3. コンピュータに接続されているすべてのデバイスのフェーダやゲインを下げておいてください。
4. DJ セットに必要な機材（コントローラやターンテーブル、ミキサなど）をすべて正しく接続します。
5. 付属の USB ケーブルで AMX をコンピュータと接続します。
6. Serato DJ ソフトウェアを起動します。

AMX の機能を最大限に活用するために、以降の機能説明もご参照ください。



- 1. USB ポート**：標準的な USB ケーブルを使用して、コンピュータと接続します。AMX の電源は USB ケーブルを通じてコンピュータから供給され、同時に MIDI 信号の送受信も行われます。
- 2. マスタ出力 (RCA)**：標準的な RCA ケーブルを使用して、外部のスピーカーやアンプなどに接続します。出力音量は、MASTER ノブで調整します。
- 3. INPUT 端子 (RCA)**：これらの入力端子に、お手持ちのオーディオ・ソースを接続します。ライン信号もフォノ信号もどちらも入力可能です。
- 4. グラウンド端子**：ターンテーブルなどのフォノ信号を接続する際には、アース線をこの端子に接続します。正しく接続されないと、ノイズなどの原因になります。ターンテーブルによっては、フォノ信号ではなくライン信号を出力する機種もあり、その場合にはアース線の接続は必要ありません。
- 5. ヘッドフォン端子 (1/8")**：ヘッドフォンのステレオミニ端子を接続します。キューやミックスのモニタリングが可能です。
- 6. SHIFT ボタン**：このボタンを押しながら、他のボタンを押すことで、サブ機能 (赤文字) にアクセスできます。
- 7. TOUCH ボタン**：このボタンを押すことで、AMX のタッチセンサ・ノブ機能 (各チャンネルの TREBLE、MID、BASS、FILTER ノブ) のオン・オフを切り替えます。TOUCH ボタンがオンの場合 (タッチ・モード)、ノブに触れることで対応する機能のオン・オフを設定可能です。
- 8. PANEL ボタン**：このボタンを押すことで、REC パネル、FX パネル、SP-6 パネル、FLIP パネルを切り替えることができます。SHIFT ボタンを押しながらこのボタンを押すと、ディスプレイ・モードを切り替えられます。
- 9. SEARCH ボタン**：曲が一時停止中にこのボタンを押しながら **BROWSE** ノブを回すと、対応するデッキのトラックの再生位置を変更可能です。再生中にこのボタンを押しながら **BROWSE** ノブを回すと、対応するデッキのトラックのピッチを一時的に変更できます。デッキが Vinyl コントロール・モードが **ABS** の場合には、適用されません。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、Vinyl コントロール・モードを切り替えられます (**INT**、**ABS**、**REL**、**THR**) この機能を使用するには、Serato の DVS Expansion Pack (別売) が必要です。

10. **BROWSE ノブ**：このノブを使って、トラックやクレートのトラック・リストをスクロールします。また、このノブを押すことで、二つのパネルを行き来することができます。
11. **クロスフェーダ**：左右にアサインされたチャンネルの音声バランスを調整します。
12. **XFADE CURVE ノブ**：**クロスフェーダ**のカーブを調整します。左に回すとスムーズなカーブ（ミックス向け）、右に回すとシャープなカーブ（スクラッチ向け）になり、真ん中辺りで、標準的なクラブ・パフォーマンス向けのセッティングとなります。
13. **XFADE REV スイッチ**：**クロスフェーダ**の方向を逆転します。
14. **MASTER ボリューム・ノブ**：プログラム・ミックスの出力音量を調整します。
15. **CUE GAIN ノブ**：ヘッドフォン出力の音量を調整します。
16. **CUE MIX ノブ**：**ヘッドフォン**出力の、キューとプログラム・ミックスのバランスを調整します。左に回し切ると、各チャンネルのキュー信号のみが聞こえ、右に回し切ると、プログラム・ミックスのみが聞こえるようになります。
17. **LOAD 1 / LOAD 2 ボタン**：これらのボタンを押すことで、選択しているトラックを各デッキ（Deck 1 または Deck 2）にロードします。
18. **LED メータ**：マスタおよび各チャンネルのレベルを表示します。
19. **LINE / PHONO スイッチ**：入力端子に接続しているソースが、ライン信号かフォノ信号かによって、このスイッチを切り替えます。フォノ信号を出力するターンテーブルなどを接続する場合は PHONO に、CD プレーヤやサンブラなどを接続する場合は LINE に設定します。
20. **GAIN ノブ**：各チャンネルのフェーダや EQ を通る前の信号レベルを調整します。もしソフトウェアの Vinyl Control モードがインターナル（INT）に設定されている場合は、**SHIFT** ボタンを押しながらこのノブを回し、トラックのピッチを調整してください。
21. **TREBLE ノブ**：高域のレベルを調整します。**TOUCH** ボタンがオンになっている場合は、ノブに触れることでこの周波数帯をミュートします（キル EQ）。
22. **MID ノブ**：中域のレベルを調整します。**TOUCH** ボタンがオンになっている場合は、ノブに触れることでこの周波数帯をミュートします（キル EQ）。
23. **BASS ノブ**：低域のレベルを調整します。**TOUCH** ボタンがオンになっている場合は、ノブに触れることでこの周波数帯をミュートします（キル EQ）。
24. **チャンネル・フェーダ**：各チャンネルの音量を調整します。
25. **PFL ボタン**：このボタンを押すことで、キュー信号として選択したチャンネルのプリ・フェーダ信号をヘッドフォンに送ります。LED が点灯しているチャンネルが、キューとして選択されています。また、チャンネル 1 と 2 の PFL ボタンを同時に押すことで両方のチャンネルをキューとしてモニタできます。
26. **PLAY / PAUSE ボタン**：デッキの再生、一時停止を行います。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、「STUTTER」ボタンとして機能し、前回セットした CUE ポイントから再生します。
27. **CUE ボタン**：デッキが一時停止の場合には、このボタンを押すことで、現在の再生位置に一時的なキューポイントを設定します。また、デッキが再生中にこのボタンを押すと、設定されている一時的なキューポイントに戻って停止します（一時的なキューポイントが設定されていない場合は、曲の頭に戻ります）。更に、デッキが一時停止の際にこのボタンを押し続けると、設定された一時的なキューポイントから再生を行います。ボタンから手を離すと、一時的なキューポイントに戻って停止します。そのまま再生を続ける場合には、**CUE** ボタンを押し続けながら **PLAY / PAUSE** ボタンを押し、その後どちらのボタンからも手を離すと、再生が継続されます。  
**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、曲の頭に戻ります。
28. **SYNC ボタン**：このボタンを押すことで、対応するデッキのテンポをもう一方のデッキのテンポおよび位相を自動的に合わせます。**SHIFT** ボタンを押しながらこのボタンを押すことで、シンク（同期）を解除します。
29. **FILTER ノブ**：このノブを回して、対応するデッキのフィルタを調整します。時計回りに回すとハイパス・フィルタ、反時計回りでローパス・フィルタになります。  
**TOUCH** ボタンがオンになっている場合は、フィルタ・ロール・モードとなり、フィルタの効き具合に加えて、フィルタにループ・ロールがかり、ノブを回すことでループの長さを調整できます。

## 付録

### 仕様

- 接続端子：** 1 x USB 端子  
2 x RCA ステレオ LINE/PHONO 入力  
1 x RCA ステレオ・マスタ出力端子  
1 x 1/8" TRS ヘッドフォン出力端子
- ノブ：** 1 x 360°タッチセンス・エンコーダ  
8 x 270°タッチセンス・ノブ  
2 x 360°エンコーダ  
3 x 270°ノブ
- 電源：** USB バスパワー
- サイズ：** 約 13.3 x 27.4 x 4.8 cm (W x D x H)
- 重量：** 約 0.8kg

### 商標およびライセンス

AKAI professional は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国で登録されています。

Serato、Serato DJ および Serato ロゴは、Serato Audio Research の登録商標です。

その他の社名および商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

**AKAI**  
PROFESSIONAL

---

[akai-pro.jp](http://akai-pro.jp)